

件名	都立両国高校定時制の台東地区昼夜間定時制高校への移転再検討に関する陳情		
提出者	江戸川区平井七丁目三番一 一三〇七号		
住所氏名	両国高校定時制を守る会	代表世話人	北村 守 外一九九人
受理年月日	平成十六年二月十日	受理番号	第三号

要 旨

都立両国高校定時制の台東地区昼夜間定時制高校への移転を再検討し、母校校舎あるいは墨田区内近隣の学校で卒業できるように、東京都及び東京都教育委員会に対し、意見書を提出してください。

(理由)

都立両国高校定時制は、「都立高校改革推進計画・新たな実施計画」によって、平成十八年度には生徒の募集が停止となり、同年度新設される「台東地区昼夜間定時制高校」に移転させられます。

三年後の移転を前提に入学してきた今年の一年生は、全員が隅田川以东の墨田区、江東区等の周辺に居住しており、台東区居住者は一人もいません。

私たちは移転を見直し、生徒に負担を強いることのないよう、六月都議会に請願書を提出し、六月十九日の都議会文教委員会では、台東移転は生徒にかける負担が大きいため、深川商業高校校舎への一括移転が代案として提案されるなど、自民、公明、民主、共産、ネット、自治市民等のほぼ都議会全会派から「台東移転で生徒に大きな負担をかけることのないよう、本委員会の意を十分にくんで措置するように」という意見が出されました。

東京都教育委員会は、「移転によるメリットもあり、特に困難な生徒には個別に対応し、転学等も考える」と回答し、請願は「保留」となり、引き続き検討されることになりました。しかし私たちは、大部分の生徒は台東移転によるメリットが少しくなく、新たな困難を背負わされることになり、移転見直しは不可欠のものと考えています。

私たちは、東京都及び東京都教育委員会に対し、引き続き働きかけを行っていきますが、地元青年の勉学等に大きな負担をかける台東移転の見直しについて、区議会としても意見具申してください。

以上の趣旨をご理解の上、右事項の実現をお願いいたします。

以上